劇団
自由人会

2018年度
劇団新聞

STAGE INFORMATION

新年号

発行　劇団自由人会
発刊　2019年1月

〒655-0047
兵庫県神戸市垂水区東舞子町7-17
ｺﾞｰﾙﾄﾞｳｯｽﾞ舞子ﾋﾞﾙ4F
[TEL]　078-784-3701
[FAX]　078-784-3610
[E-mail] kobe@jiyuujinkai.jp
[URL]http://www.jiyuujinkai.jp

facebook、twitter、blog
更新中

各種イベントや客演情報のお知らせはもちろん、役者やスタッフ達のブログなど、自由人会の情報が盛りだくさん！
劇団web siteへAccess！

2018年は神戸開港150年、兵庫県政150周年記念イベントとして総勢90名が参加した新作「神戸海軍操練所　～幕末蒼蓮華～」から華やかにスタート！そして学校巡演ver.にリニューアルされた「幕末青春伝」が先行公演として兵庫県、山梨県、東京都にて上演されました。いよいよ待望の作品が2019年度より全国巡演を開始します！「夢をかなえるゾウ」と共に、劇団２大作品として全国を駆け巡ります。間違いなく2019年亥年のウリ(売り)！さぁみなさんッ自由人会ビッグウェーブに乗り遅れないでくださいね！お楽しみに！

～信じてるよ、君たちの生きる力を～ 神戸から贈るエール 第４弾

ボランティア公演企画

被災した子どもたちに生の舞台の感動を届けたい！

2018年は台風を始め地震や大雨、大雪など日本各地で甚大な被害が相次ぎました。
被災された方々には心からお見舞い申しあげます。

自由人会は1995年阪神・淡路大震災により事務所や稽古場は全壊し、多くのものを失いました。しかし、私たちがどん底から立ち上がることが出来たのは、未曾有の災害の中で、自分たちのことより被災者の為に一生懸命に働いてくださった皆様、そして全国各地からのご支援のおかげです。私たちは皆様への恩返しを含め、神戸の劇団としてボランティア公演・アート支援を続けています。

今、日本だけでなく世界中で度重なる自然災害の中、復興に向けての問題は沢山あります。その中で、私たちが出来ることは“演劇”や“音楽”で少しでも非日常の世界で楽しんでいただくこと。それが明日への糧になることと信じ、皆様と一緒に笑顔溢れる空間が創造できればと願っております。

2019年2月26日(火)
愛媛県大洲市　三善小学校　菅田小学校
ボランティア公演決定。

愛媛県だけでなく岡山県、広島県にて
ボランティア公演企画中です。
ひとつでも多くの地域で子どもたちが笑顔になりますよう、みなさまのご協力よろしくお願いいたします。

～義援金 口座～
三井住友銀行 垂水支店 普通　口座番号4827235
2018.12　現在　義援金総額　125,606円
ボランティア公演資金として運用させていただきます。

プチミュージカル
「さるかにものがたり」
＆スマイルショータイム

小学校巡演作品

Finale ミュージカル ケーキやさんのゆうれい

原作／ジャクリーン K.オグバーン　脚本／児玉世喜　演出／ふるかわ照

「ケーキやさんのゆうれい」は２０１３年度より、たくさんの子どもたちとふれあってきた作品です。年々ニーズに合わせて変化し続け、参加型の公演やワークショップ一体型、そして小学校作品として全国巡演してきました。

子どもたちと作成した巨大ケーキが舞台装置の一部として登場。子どもたちも大興奮！

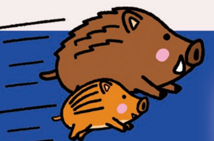
観劇前にスイーツデコキーホルダー作りに挑戦。
大人も子どもも真剣！それぞれ個性が光る作品がたくさん♪

あッと驚く舞台の仕掛けや、コミカルな動きがふんだんに盛り込まれたステージ！

ゆうれいになってしまい自分のお店を誰にも渡すまいと意地悪を続けるコーラと、お店を手に入れるために、がむしゃらにケーキを作り続けるアニー。ぶつかり合いながらもお互いに見つけた答えは…それはアニーの最後の台詞にありました。

『大切なのはあなたを思う心』

相手を思いやり、心と心で接することができた時、２人の間には友情が生まれたのです。今年度で「ケーキやさんのゆうれい」は終演しますが、この大切なメッセージを胸に刻み、次回作へとバトンタッチします。ご覧いただいた皆様、並びに関係者の皆様、そして応援してくださった皆様、誠にありがとうございました。



全国第１位　ますます絶好調！　今年も突っ走るゾウ！

原作／水野敬也『夢をかなえるゾウ』(飛鳥新社刊)
脚本・演出／杉野じんべえ

夢をかなえるゾウ ～青春ロボット編～

観客動員数145,000人突破！

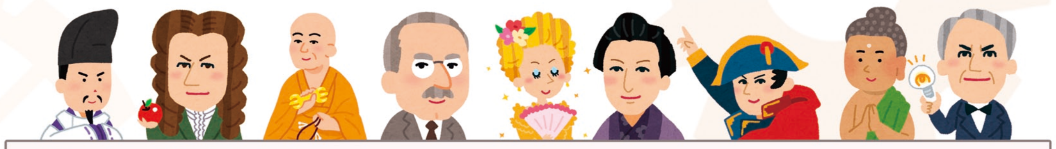
2015年より全国巡演を開始した
「夢をかなえるゾウ ～青春ロボット編～」は4年目を迎え
観客動員数145,000人を突破！
上演校数は200校を超え、2017年には数ある劇団の中で
全国第１位に輝きました。
まさに日本で一番鑑賞されている作品です！
今年もたくさんの皆様にお会いできることに感謝し
これからも全国に夢ゾウ旋風を巻き起こします！

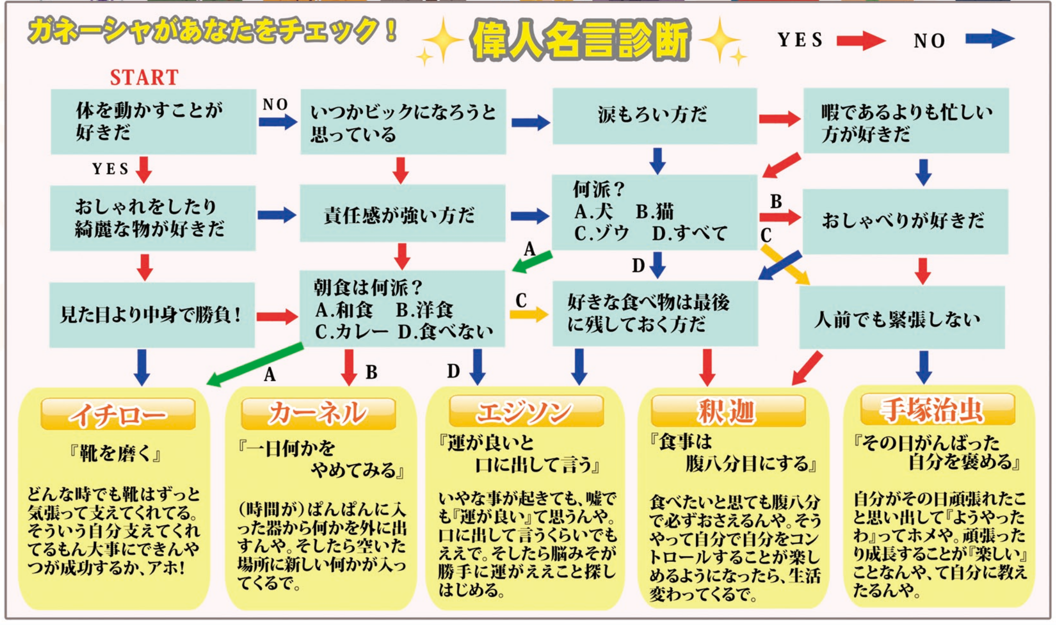
※日本劇団協議会「上演記録に関する調査研究報告書　正会員団体上演記録」2017年 参照

原作も全国第１位

原作『夢をかなえるゾウ』水野敬也(飛鳥新社刊)が全国の中学・高校教師が生徒に最も読んでほしい本を選ぶキミ本大賞2017年「元気をくれる本」第1位に選ばれています。

ガネーシャの“教え”　実は偉人達の名言！





ガネーシャがあなたをチェック！

偉人名言診断

YES →　NO →

START
体を動かすことが好きだ（YES → おしゃれをしたり綺麗な物が好きだ／NO → いつかビックになろうと思っている）
おしゃれをしたり綺麗な物が好きだ
いつかビックになろうと思っている
涙もろい方だ
暇であるよりも忙しい方が好きだ
責任感が強い方だ
何派？ A.犬　B.猫 C.ゾウ　D.すべて
おしゃべりが好きだ
見た目より中身で勝負！
朝食は何派？ A.和食　B.洋食 C.カレー　D.食べない
好きな食べ物は最後に残しておく方だ
人前でも緊張しない
A
B
C
D

イチロー
『靴を磨く』
どんな時でも靴はずっと気張って支えてくれてる。そういう自分支えてくれてるもん大事にできんやつが成功するか、アホ！

カーネル
『一日何かをやめてみる』
(時間が)ぱんぱんに入った器から何かを外に出すんや。そしたら空いた場所に新しい何かが入ってくるで。

エジソン
『運が良いと口に出して言う』
いやな事が起きても、嘘でも『運が良い』て思うんや。口に出して言うくらいでもええで。そしたら脳みそが勝手に運がええこと探しはじめる。

釈迦
『食事は腹八分目にする』
食べたいと思ても腹八分で必ずおさえるんや。そうやって自分で自分をコントロールすることが楽しめるようになったら、生活変わってくるで。

手塚治虫
『その日がんばった自分を褒める』
自分がその日頑張れたこと思い出して『ようやったわ』ってホメや。頑張ったり成長することが『楽しい』ことなんや、て自分に教えたるんや。

劇団自由人会

2019年度 全国巡演開始

涙あり！ 笑いあり！ アクションあり！

兵庫県立芸術文化センター　阪急中ホール
東京都　大田区民プラザ　大ホール
山梨県　河口湖ステラシアター（野外劇場）

青春群像劇

幕末青春伝

bakumatsuseishunden

自分の未来は自分の手で切り拓く

未来への第一歩！

作／藤木剛
演出／ふるかわ照
音楽／木村知之

「神戸海軍操練所　～幕末蒼蓮華～」が学校巡演バージョンへ！新たに「幕末青春伝」としてリニューアル！先行で全国３大公演を実施。兵庫県立芸術文化センターを皮切りに東京、そして野外劇場にて上演。

驚きと感動の舞台芸術！
船が煙を出し動き出す！

様々な情報が飛び交うインターネット社会の今、高校生たちは何を見聞きし、何を感じているのでしょうか。無数の選択肢がある一方、状況を把握し一歩踏み出す行動力がより一層必要となってきた現代。勝海舟や坂本龍馬ら神戸海軍操練所に集う幕末の志士たちもまた、自分自身を信じ、新たな時代に希望を抱き奮闘します。苦悩や葛藤、儚い恋…立ち塞がる新選組との衝突。時代の波に翻弄されながらも、彼らは自分自身で自分の未来を切り拓く為に大きな一歩を踏み出します。

今回、自由人会が挑むのは群像劇。一人一人にスポットを当て、集団が巻き起こすドラマです。多種多様な人間模様を持った人々が集まり、そこから物語が動き出します。様々な人物の視点から幕末の時代背景や、大人として、教育者として、そして若者たちの思いが多角的に観劇できます。

あなたは勝海舟？坂本龍馬？それとも新選組派？

生徒さんはもちろん、先生方にも満足して観劇いただける、何度も観たくなる作品です。

明治維新から150年　龍馬没後150年　神戸開港150年

神戸海軍操練所 ～幕末蒼蓮華～

bakumatsusourenge

2018年1月19日(金)公演　神戸文化ホール 中ホール

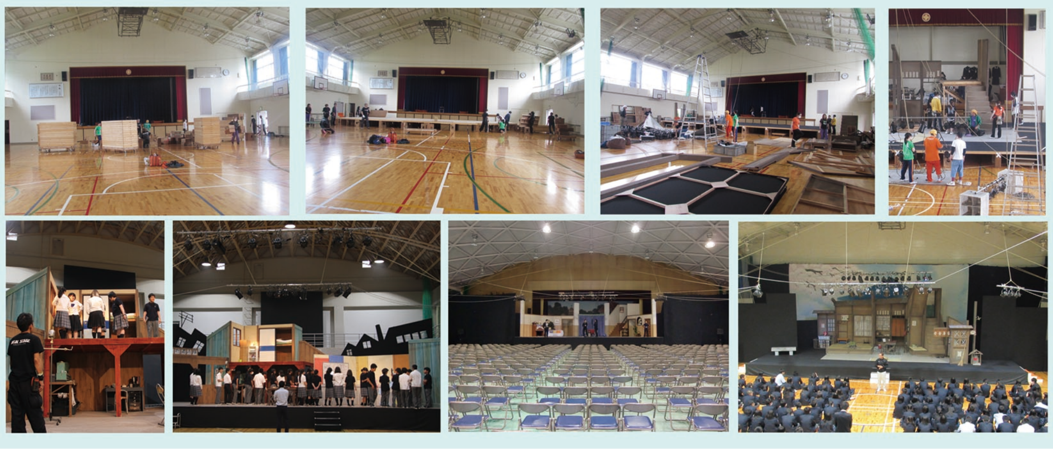
たくさんのご来場
ありがとうございました!

開港150年、及び県政150年記念事業の一環として、神戸電子専門学校との共催となったこの公演では、地元企業のご支援や、地域の街づくり運動のひとつとしても広報等、多大なご協力をいただきました。また一般市民の皆様にもご出演いただき、総勢90名のメンバーで大作を創りあげることが出来ました。地域に根ざした演劇活動を目指し、今後も地元の皆様と共に、演劇を通して文化振興に努めてまいります。ご協力いただきました各方面の皆様に心より感謝申し上げます。

学校の体育館が劇場になる瞬間
感動はここから始まるー

体育館の可能性

体育館公演はキャスト、スタッフが協力し合い、一つの舞台をゼロから創りあげます。そして、また元の体育館に戻る様子を一緒に体験することができます。
「これがいつもの体育館！？」「え～ッ劇場みたい！！」
感動はもうここから始まっています。演者と観客が一体になり創りあげるのが劇団自由人会の生の舞台です。



演劇の将来

兵庫県劇団協議会 代表
劇団自由人会 代表
森もりこ

最近、社会の変化と共に「コミュニケーション能力の必要性」という言葉をよく耳にします。急速な機械化が進むことで今、日本は多様な価値観があふれ、何が正しいのか間違っているのかを判断することが難しい世の中となってきました。また、グローバル化が進む中、自分とは違う生活習慣や意見、アイデンティティ等をいかに受け入れ、他人と交流していくことができるかは、これからの時代に大きな課題となってくるように思います。そういった問題を解決していく為には「コミュニケーション能力」が必要となるのは当然のことです。そのコミュニケーション能力を高める方法の一つに「演劇体験」が組み込まれることが多くなりました。

「演劇」は舞台・観客・演者の三位一体で成り立つ芸術です。戯曲を通して作者と繋がる。演技を通して相手役や演出と繋がる。そして裏方との連携により最後は観客と共に創り上げる。

「演劇」はコミュニケーション能力を高めていく為には欠かすことのできないプログラムの一つです。

ここ数年前から、学校教育の中に「演劇ワークショップ」を組み入れる学校が多くなりました。これ程にまでSNSが生活と密着している今、機械ではなく生の人間と繋がることで生み出される力を感じ取り、他人と共生していく喜びを得るには、やはり演劇はこれからの時代、人間形成には欠かすことのできない芸術文化の一つとなっていくのではないでしょうか。ただし、私たち演劇創造集団にとっては、演劇を鑑賞することで豊かな感性を引き出し創造力を高めていくことと、演劇という手段を通してコミュニケーション能力を生み出していくことは別のジャンルであると考えておくべきだと思っています。観客の為に質の高い演劇を提供していくには、まず創造者がスキルアップする為に日々の努力を積み重ねていかなければなりません。ワークショップというジャンルは、演劇は一つの手段であり参加者の能力を向上させることが大前提となります。どちらにしても他人と共存していく為には、これからの世の中は演劇活動が必要になってくるのではないでしょうか？

演劇が人の生活に密着して、ワークショップにしろ鑑賞にしろ、演劇に関心をもつ人口がふえていくことはコミュニケーション能力を高め、他人を受け入れ痛みを分かち合い、協調性を身につけていき、それが平和な世の中をつくりあげる力に繋がっていくのではないのだろうか…と考えています。今こそ私たちの力が試されているような気がします。